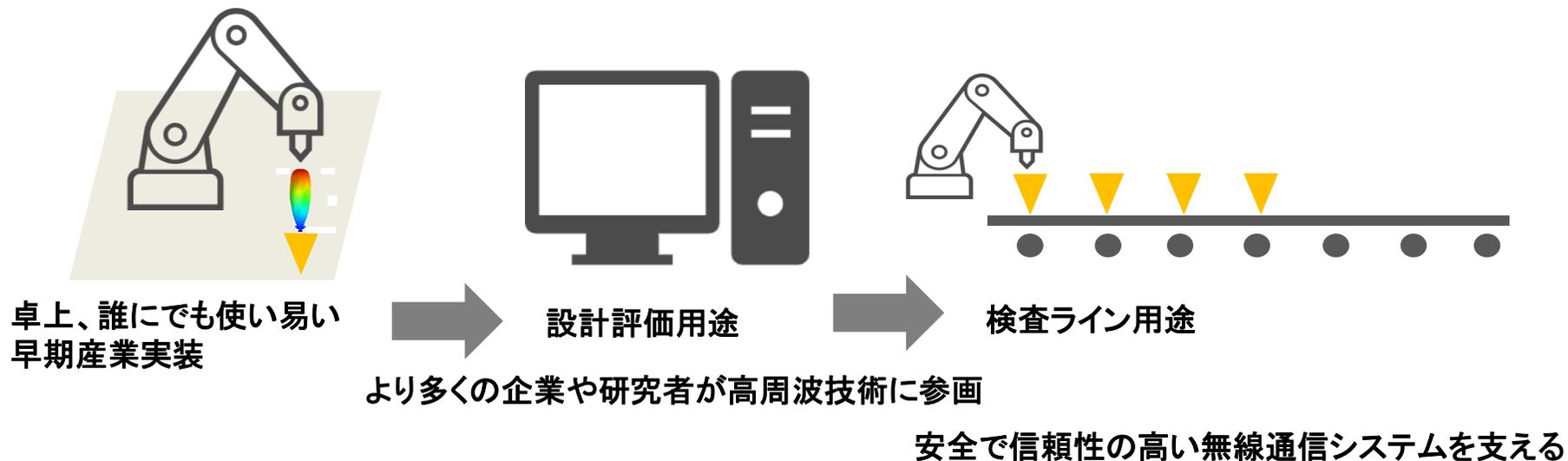


300GHz帯アンテナ評価技術の実用化

研究概要：本研究開発は、300GHz帯アンテナにおいて卓上計測、低コストシステム、且つ測定時間が短い汎用的な電波計測技術を実用化することを目指している。あらゆる企業や研究機関が高周波デバイスや材料等の評価ツールとして扱えるように、2025年ころには当計測技術の普及を目指している。具体的には、2024年には受託計測を開始することを計画しており、特に設計・研究開発ツールとして早期に産業実装をさせる予定である。さらに、当計測技術の汎用性を活かして検査ライン等に導入をする予定である。これにより、過度な設備投資を伴わず300GHz帯の電波計測を多くの企業と研究機関が実施できるため、高周波化技術が促進され、より高い周波数へ移行することをサポートすることができる。



【契約期間】 令和3年度～令和4年度（ステージゲート評価予定）【契約総額】 約1.0億円

【受託者】 株式会社フォトニック・エッジ（代表研究者）、7G aa株式会社